

S I P 第 3 期「マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築」  
社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 6 年 10 月 31 日  
マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築  
プログラムディレクター 木場 祥介

今般、マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築 においては、研究開発計画の一部変更が生じたため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更点は以下のとおり。

1. III. 研究開発計画 - 3. 個別の研究開発テーマ - ②実施内容

1) 令和 5 年度採択課題：令和 6 年度予算配分額を追記

- 研究開発テーマ A(1) プラットフォームの円滑運用手法の検討
- 研究開発テーマ B(1)：プラットフォーム連携のための基盤技術構築
- 研究開発テーマ B(2)：我が国マテリアルデータ資産のネットワーク化
- 研究開発テーマ C(1)：マテリアルユニコーン予備軍創出支援

2) 令和 6 年度採択課題：公募・採択の完了に伴い、実施内容及び予算配分額を追記

- 研究開発テーマ C(1)「マテリアルユニコーン予備軍創出支援」において、令和 6 年度に追加公募したところ、「新炭素材料 GMS を用いたリチウムイオン電池の電極プロセス革命～炭素とスラリーを制する者が電池を制する～（代表研究開発機関：(株)3DC）」と「世界初の早期膵臓がん診断事業～独自技術の高感度マーカーによって、がんが完治する世界の実現！～（代表研究開発機関：産業技術総合研究所）」が採択され、実施内容及び予算配分額を追記。
  - ◇ k) 研究開発チーム C(1)-4：株式会社 3DC
  - ◇ l) 研究開発チーム C(1)-5：国立研究開発法人産業技術総合研究所

2. IV. 課題マネジメント・協力連携体制

公募・採択を受けて、「図IV-1. 実施体制」の各代表研究開発機関を追記。  
経済産業省の組織改編を受けて、「2. 府省連携」の連携先部署を変更。

3. V. 評価に係る事項 - 2. 実施体制 - (1) 構成員 (担当・履歴を含む)

ピアレビュー委員の辞退及び追加が令和 6 年 8 月 1 日のガバニングボードで承認されたことを受け更新。

以上